

日 時：平成 28 年 1 月 25 日（月）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：新館集落センター

対象地区：新館、向野

参加人数：12 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○①警察署について ②宿泊施設について ③東北ミニ国体の実行委員会について (市民からの要望・質問)</p> <p>聞きたいことが三つある。</p> <p>①市で警察署がないのは平川市だけである。大浪線から山手に駐在所が一件もない。</p> <p>②去年、運動公園でグラウンドゴルフの東北大会くらいはできると謳っていたが、そういった大会を開催した場合に利用できる宿泊施設が平川市に三、四件しかない。</p> <p>③東北ミニ国体があるが実行委員会がまだできていない。</p> <p>(市の回答)</p> <p>当初の警察署の配置の関係で、平川市は交番もなかった。しかし平川市は犯罪が少なく比較的安全な地域であり、町居、新屋、唐竹の駐在所がなくなった理由もそれにある。</p> <p>もうひとつは駅前に交番をつくることによって、夜間時は一人勤務のため対応が難しかったものが、駐在所を減らした分の人員をさくことで 24 時間対応することができるようになった。平賀駅前で若者がたむろし危険であったが、一人だと対応しにくいこともあった。犯罪の抑止的なことを考えれば駐在所はあった方がいいが、犯罪の発生率が少ないということもあり、当時の市の方でも駐在所を減らすのはやむを得ないと考えたのだと思う。県の警察署も駐在所を徐々になくす方針である。</p> <p>宿泊施設に関しては、確かにアップルランド、柏木温泉、大坊温泉くらいしかなく少なくなっているのは事実だ。総合運動場に体育館を建てる計画もしており、合宿所も造ってはどうかという話もあったが予算がかなりかかり、そこへ常に合宿しにくる人たちがいるわけでもないため、合宿所を造ることができない可能性が高い。では他に宿泊所を設けるかとなると、恒常的に宿泊客があるかと言えばそうでもない。</p> <p>ただ運動施設を整備していくことで利用率は上がると思う。目的広場と陸上競技場を使えば 500 人規模でのグラウンドゴルフができる会場になるだろうということで、数年後にある東北大会には対応できると思うが、宿泊施設に関しては行政でなんともできない部分があるので難しいところである。</p> <p>夏にある相撲に関しては力士と行司、付き人など合わせて 270 人位いるが市内の宿泊施設で対応できると聞いている。</p> <p>ミニ国体については県の方から平川市へ種目についての打診等があった。平川市自体で事務局を立ち上げていないので、不安に思うところもあるだろうが順次進めている。</p>

(市民からの要望・質問)

その宿泊施設なのだが、12年前くらいに平賀でミニ国体を行った時にゲートボールの大会と日程が重なった。アップルランドを宿泊先にしようとしていたが、その前にゲートボールの団体が部屋をおさえてしまっていたので、黒石の温湯に泊まることになった。そういった経緯があるので、市にもっと宿泊施設を作って欲しいと思う。

○相撲について

(市民からの要望・質問)

相撲の入場券はどういったかたちで当選を決めるのか。

(市の回答)

相撲に関しては実行委員会を立ち上げて進めているが、入場券については2月9日に実行委員会があるので、その時に詳しく決める予定である。

(市民からの要望・質問)

全部抽選にしてもらいたい。

(市の回答)

いま実行委員会で考えているのは、3月15日に広報の配達の際と一緒にチラシを配布し、その中のはがきで申し込みをとるというものである。一世帯につき何席までの配分にするかなどはまた実行委員会で話し合うことになる。席にも手前席、立席など種類があるのだがそれぞれ抽選で決めていくつもりである。

大相撲平川場所については、本当の相撲というものを市民に身近で見て欲しいという考えから、一席3千円ほど安くして市民先行で行うつもりである。

(市民からの要望・質問)

抽選でやるのが一番公平である。

(市の回答)

まず応募をいただいて全部抽選するというかたちにしていきたい。詳細については2月9日に話をし、3月15日の広報のチラシで詳しくお伝えするつもりである。

(市民からの要望・質問)

どの位の人数を予想しているのか。

(市の回答)

一応2,600人くらいと考えているが、応募をとってみて市民の申込みが多いようであれば席を増やすことも考える。

○体育館の看板について

(市民からの要望・質問)

去年の懇談会で、晩に体育館の看板が見えないという意見が出たが対処されていない。街灯と道路標識の陰になっているので隠れてしまっている。

(市の回答)

場所がうまくいかなかったのかもしれない。去年「町居から体育館へ曲がるところが夜わかりにくいと感じる。わかりやすいように街灯を設置して欲しい」という要望で現場を見て対応するということであったが、現場を見て設置したとは聞いていた。

(市民からの要望・質問)

町居の方へ行く方面なので反対側かもしれない。

(市の回答)

場所を確認して対処する。

○鳥獣被害について

(市民からの要望・質問)

新館の神社のまわりに野菜の畑があるのだが、アライグマが出てとうもろこしを全部食べられてしまった。

(市の回答)

近年、アライグマやハクビシン、タヌキが増えており、とうもろこしが一番好物なようだ。毎年箱穴を増やし、猟友会にもお願いしているが、箱穴は資格がないと設置できないのでその資格を職員に取得させることも考えている。

農林課に箱穴はどのくらい設置できるかなど確認する。

○融雪溝について

(市民からの要望・質問)

融雪溝の下手で雪がつまってしまい家の敷地にあふれてしまっている。2、3年前に土木課の方に直して欲しいと要望したが、なかなか改善されない。融雪溝の下に川があるために30cmばかり上にあがるのだが、そこで詰まってしまうようだ。

(市の回答)

それはどの辺か。

(市民からの要望・質問)

大きい道路に出る前に雇用促進住宅へ抜ける道路があるが、そのあたりである。

(市の回答)

現場を見て対応する。

○除雪について

(市民からの要望・質問)

除雪車のショベルに付着したまま運ばれてきた余所の雪が家の庭の前に残されていく。新雪ならまだいいが雪が敷地の入口に置いていかれることがあり、朝起きると大変困る。ショベルにサイドウィングをつけるなどの対応はできないだろうか。

(市の回答)

サイドウィングをつけると前方に雪を運んでいくしか方法がないので一定の場所に雪置場が必要になる。大量の雪を置いてもいいと言ってくれる場所があればいいのだが、現状では平等に協力してもらえない。

また、今は逆に雪が玉状になって車が傷むので困るという話も聞かれる。早いうちに壊してしまえばいいが一日経つと固くなってしまふ。その雪の玉も小さくするような方法を考えなくてはならないのだが、今のところ機能のいい道具ができていない。

除雪に関しては高齢者の一人暮らしや二人暮らしが多くなっているのだから、そういったところには置かないでくれと伝えてはいるが調節がなかなか難しいようだ。

(市民からの要望・質問)

建設省はサイドウィングをつけて3、40年前からやっている。どこでも最初は面倒に思うが、やってみるといいものだと思感する。

(市の回答)

碓ヶ関でシャッターをつけて除雪しているところがある。シャッターをつけるときれいに除雪することはできるが、雪置場までならいいがずっとそのまま運んでいくことはできない。シャッターが有効な路地などでは活用できると思う。

油圧のスイッチとなると一台につきかなり高値になるのではないかと。

(市民からの要望・質問)

経費はかかると思うが、運転手がゆっくり運転すればできると思う。

(市の回答)

これから試験的に調査・研究を行ってみる。こちらもいろいろ勉強して検討させてもらう。

○農道の除雪について

(市民からの要望・質問)

畑へ向かう農道なのだが、剪定の時畑に向かうと、ちょうど地区のはずれまでは除雪するがそれ以上は除雪してもらえない。自分の畑のあたりの道路が平川市の管轄になっているからと、農道組合に加えてもらえない。だから自分たちで個人的にお金を出してショベルを借りてきて自分たちで除雪している。

(市の回答)

市からの補助金ももらっていないということか。

(市民からの要望・質問)

もらっていない。農道を使う人たちだけで今までやってきた。できれば一、二回でもいいので畑のまわりだけでもやってもらいたい。高速道路の下のあたりなのだが。

(市の回答)

農道組合に入れれないというのはどういうことなのか。

(市民からの要望・質問)

高速道路をつくった時、高速道路の方で全部道路をつくってくれたので農道組合には関係がないらしい。北の方は別になっているからとやってもらえない。市の管理だからと。

(市の回答)

それはどこの農道組合なのか。

(市民からの要望・質問)

新館農道組合である。

(市の回答)

場所を確認して調べてみる。農道の除雪に関しては農道組合にお願いしている。旧平賀町の農道は町道になっていたと思うが、農道組合で管理している所も恐らく町道だと思う。

(市民からの要望・質問)

そのあたりの話も自分でもまた聞いてみる。

○出会いの場について

(市民からの要望・質問)

自分たちの頃は見合いなどあったが、今の若い人たちは見合いがない。平川市では見合いなどはしているのか。

(市の回答)

なかなか見合いをやっている人はいないようだ。昔は仲人をしてくれる人がたくさんいたが、今はそういう人がいなくなってしまった。市でも人口を増やすにはまずは出生率をあげることが大事だと考え、その代用として合コンを企画するなど色々やっているがなかなか期待通りにいかずどうすべきかと悩んでいる。

かつては青年部などで交流し出会いもあり、それを機に結婚した人たちもいたと思う。今年も弘南電車や東京会館で出会いの場を設けたが、そこでいいカップルが成立したという話は多くは聞こえてこない。しかし出会いの場そのものはつくらなくては何もなくなってしまうので、これからもそういった企画は続けていかななくてはならないと思うが、もっといい方法はないかと考えている。この間、東京会館でやったパーティーでは交互に回って時間制限で話をして気の合った二人は別室で話をして、何人かはメールのアドレス交換を行っていたようだ。

○間伐について

(市民からの要望・質問)

先日の総会でも話をさせてもらったのだが、りんごが 12~13 町歩あるのだが杉が大きくなって 4、50 年経つ。見積もりをとったら費用が 450 万円位かかる。市の方で補助的なものはあったりするのだろうか。

(市の回答)

間伐については補助の出るものと出ないものがある。50 年間のうち 3 回までは補助の対象になる。補助でなく木を切って、切った木を売って費用を賄ってもらうしかない。

(市民からの要望・質問)

バイオマスのところに持っていけば 200 何十万円になるという話は聞いた。また県の方からも 200 万円くらい出るということで、実際の費用は 50 万円くらいなのだが、その分を市の方で請け負ってくれば負担がなくて済むので、そういった方法はないものかと思った。

(市の回答)

間伐が 30 年以上経っていると対象にならないかもしれない。

(市民からの要望・質問)

財産区の貯金などはそういったものに使えるものだろうか。

(市の回答)

議会を通す必要があるが大丈夫だと思う。

○融雪溝について

(市民からの要望・質問)

融雪溝が高さ的にも合わなくてどうしても設置できない、なかなか市でやってもらうことができないという場合、自分の家の敷地内にロードヒーティングを設置するなどして、例えば100万円掛かるものであればその何割かを補助するなどの制度はないだろうか。

(市の回答)

国で電気代を補助していた時はあった。ロードヒーティングのコストが夜間電力を使うなどしているが、全体的に電気料金が高額になってしまい、普通の家庭でも負担が大きすぎるため電源を切っていることが多いようだ。市で個別に助成するとなると基準やルールづくりも必要になってくる。融雪溝があるところとまったくないところ、井戸がない、水の温度がないところ、逆に川から水が汲める条件に恵まれているところと差が激しいので一律の補助体制をつくることは難しい。

(市民からの要望・質問)

今まで前例はないということか。

(市の回答)

個人に対してはない。市が融雪溝を作るなどであれば国の補助を使うなどして設置する。水源が確保でき、水の流末もしっかりしているのであれば流雪溝の整備も検討できる。流雪溝の設置はできるところは大方やっている。今までないところは水がないなど環境が悪いところとなる。懇談会で町会を回ると9割ほどで融雪溝の要望が多い。しかし水がない、雪を捨てるところもない、勾配もないなど条件が悪く難しい。

(市民からの要望・質問)

温度があるため地下水を汲み上げてやる方法もあるようだ。

(市の回答)

確かに地下水だと温度はある。しかし地盤沈下の恐れがあったり水の汲みすぎで井戸が止まったなどの問題もある。

○高齢者への支援について

(市民からの要望・質問)

ひとり暮らしの高齢者は何か補助的なものは受けられたりするのだろうか。

(市の回答)

金銭的なものと難しい。ただ、安全に暮らしているかどうかは福祉関係で把握している。なにかあった時は社会福祉協議会につながる福祉安心電話というものもやっている。

(市民からの要望・質問)

ほのぼの交流協力員でひとり暮らしの高齢者を見回るといいう取り組みもやっている。

(市の回答)

ひとり暮らしの人の町会の負担部分を市でとなると難しいので、町会の中でやっていただくしかない。そういう意味でコミュニティの補助金を集会所の維持費や地域づくりに使って欲しいと思って助成している。

(市民からの要望・質問)

その助成はまだまだ続くのか。

(市の回答)

続ける。昨年度から市内全域で100万円ほど多く出すようにしている。これからも地域づくりをやってもらうために、市役所も職員の数が減ってきているためそれぞれの町会の力を借りなくてはならないので、コミュニティのお金を使ってもらって地域の人のために活用してもらいたい。

○出会いの場について

(市民からの要望・質問)

若い人の出会いの場やきっかけを作ってもらえたらいいと思う。

(市の回答)

来年度予算の重点的なものの中にも若者世代の希望がかなう街をつくりたいということで重点事業としてやっていくつもりである。昔と生活形態が変わってきたので今の時代に合ったものを勉強させてもらいながら取り組んでいきたい。

○市のホームページについて

(市民からの要望・質問)

建設課の除雪のものなどホームページの記事が3年前のものなども載っている。それらはまだ残しておかなくてはならないものなのだろうか。またまちづくり懇談会の議事録もできるだけ早く更新してほしい。

(市の回答)

議事録はなるべく早く掲載できるように心がける。ネットの情報については今の情報に変えても数年前と同じ内容になるため変えていないこともあるかもしれない。各課に点検させるようにする。